



「時のうつろいを共に生きる」 地域密着の医療

<基本情報> ●設立/2003年6月 ●所在地/始良市宮島町55-10 ●従業員数/約250人(グループ全体)
●お問合せ窓口/TEL:0995-67-8899 ●HP/ http://www.komaki-cl.or.jp



あいらへリオスグループ

ここがポイント!

- クリニックのほか保育園や病児保育から高齢者施設まで、地域に根ざして人生の様々なステージに寄り添うサービスを提供



小牧伸一郎さん

瀬戸山飛鳥さん

Interview

こまき しんいちろう
理事長・**小牧 伸一郎** さん
医師
せとやま あすか
看護師 **瀬戸山 飛鳥** さん
へインタビュー



エコー(超音波診断装置)を操作する小牧医師

業務内容は?

(小牧)内科・循環器科の外来診療のほか、往診、訪問看護も行っています。グループとしては、デイケアや居宅介護事業所、特別養護老人ホーム、保育園など18の事業所があります。(瀬戸山)私は外来看護師として、外来患者さんの対応をメインに行っています。



多機能心電計を使った検査

現在の仕事を選んだきっかけは?

(小牧)高校生の頃は海洋学部に行って造船の仕事をしたと考えていました。ただ、実家が医者家系であったこともあり、自然と医師になるというイメージを持っていた部分はあります。(瀬戸山)かつては獣医師になりたくて、その他にも保育士やピアノの先生など、やってみたい仕事はたくさんありました。母も看護師なのですが、私の性格が看護師に合っていると見抜かれていて、結果的にこの仕事を選ぶよう促された気がします。

仕事のやりがいとは?

(小牧)始良市で開業してから、最初は知り合いも居ないので、覚えてもらうためにあちこち飲みに行ったりしました。知り合うと非常にみなさん温かくて、様々な人の協力でここまで事業が広がった気がします。それが有り難いし、楽しいところです。(瀬戸山)先生と患者さんの間に立って、診療が円滑に進むようにするのが看護師の仕事だと思っていますので、例えば、外来に来られた患者さんやご家族に「瀬戸山さんに話を聞いてもらって良かった」と言ってもらえるのはとても嬉しいです。

始良市で開業された経緯は?

(小牧)始良市は地元というわけでもなく、外からやってきた形ですが、開業にあたり医療的な面で循環器科専門のクリニックが不足していた地域を選びました。

鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

(小牧)移住者が多く、様々な人が集まってきた面があります。歴史的には薩摩國と大隅國の境目で文化が混ざり合っていて、それぞれの地域に伝統・文化が生きるところも興味深いですね。(瀬戸山)始良市は交通の便がよく、人が面白くて優しい印象があります。看護師は全国どこでも働けるのが強みですし、どこもその土地な

らではの良さがありますが、都市部に行くほど人の繋がりが薄くなる気はします。その点で今の職場は人に恵まれた環境だと思います。

求める人材像は?

(小牧)高めよう、伸びようとする向上心は大切だと思います。医師も新しい薬のことなど学ぶことの多い仕事ですが、知識があってもそれをどう生かせるかが大切です。患者さんの最期に立ち会うこともあるので、自分の中に哲学を持っていることが求められると思います。

高校生のみなさんへメッセージをお願いします。

(瀬戸山)仕事はひとつに絞らなくても、転職は全然ありだと思います。看護師をしても理学療法士になったり、デイケアを立ち上げたりする人もいます。いろんな仕事があるのを知ってほしいです。(小牧)自分から行動すること。口を開けて待っていても誰も餌をくれません。また、限られた時間をどう有効に生かせるか、時間を大切にすることを大切にしてください。



生活習慣病の原因にもなる動脈硬化を調べ検査

「ものづくり」のDNAで 日本中の現場を支える

<基本情報> ●設立/1955年2月 ●所在地/始良市平松7233(本社)大阪営業所(大阪市)・広島営業所(安芸郡) ●従業員数/計45人(本社34人、大阪6人、広島5人)
●お問合せ窓口/TEL:0995-65-6681 ●HP/ https://www.land-art.co.jp



ランドアート

ここがポイント!

- 「ものさし」から始まり、現在は約6000アイテムの商品を取り扱うように
- 3Dプリンタなど最新の技術を活用し自社製品を開発、製造



Interview

株式会社ランドアート代表取締役社長
くろだ いくよ
黒田 幾代 さん
へインタビュー



3Dプリンタなどの最新機器を活用し自社製品を製造

業務内容は?

測量・計測用品のほか、様々な現場で使われる道具を販売する商社であり、自社製品も製造しているメーカーでもあります。現在は約6000アイテムの商品を量販店さんなどへの卸を中心に販売していますが、県外の大学の研究室から埋蔵物の発掘に使う道具の発注をいただくなど、EC事業部(EC=電子商取引)では個人の方に対する販売も行っています。



工事看板は主力商品のひとつ

始良市に立地された経緯は?

1955年に鹿児島市内で南日本度器という会社名で創業しました。同時に工場として旧始良町に拠点を置き、現在はここを本社とし、大阪と広島にも拠点があります。

なぜメーカーであり商社でもある、という業態に?

創業時は竹の「ものさし」工場としてスタートして、徐々に関連製品を扱うようになりました。竹を切り出し、仕入れて製品化していました

が、時代とともにコストがかさむようになり、中国の竹の産地で仕入れたものを現地で加工して逆輸入するようになった経緯があります。元々ものづくりの会社なので、どこかにそのDNAが生きていて、自分たちのオリジナリティを追求したいという思いがあります。昔ながらのものづくり工場とは違いますが、最近のデジタル技術などを駆使した、ニッチな商品を作って提案してみたり、そういう提案が奏功してお声がけいただくこともあったりします。いずれは自分たちのオリジナルの商品ラインナップをもっと増やしたいと思っています。

仕事の楽しさ、やりがいとは?

元々ものづくりの会社ですし、「こういうものがあるといいよね」という自分のアイデアが会社の主力商品として形になるチャンスが身近にあります。誰もが日常の中での困りごと、気になったことを形にする、商品化する機会が得やすいところは魅力だと思います。

これから取り組みたいことは?

現代は様々なものが溢れている社会ですが、既存のものに磨きをかけて、アレンジしたりしてより便利なもの、使いやすいものをたくさん作ってきたいです。与えられる仕事だけでなく、自分たちのオリジナル商品を作るという思いを皆で共有し、ものづくりの志向を持った会社でありたいと思

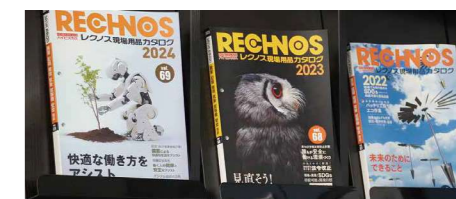
います。

鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

まずは県央にあることで物流拠点比較的近いこと、空港などにも近く県内外どこへ行くにもアクセスが良いことでしょうか。また、都市部に比べて交通量なども通勤しやすい環境だと思います。車で通勤する職員が多いですが、始良駅がすぐ近くなので公共交通機関も使いやすい場所です。職員は7割くらいが始良市内の方ですが、ここで働いてから始良市へ移り住んだ人もいます。県央の立地は暮らしやすさにも繋がっていると思います。

高校生のみなさんへメッセージをお願いします。

便利な時代だからこそ、ものごとを深く考えなくなっている面があるのでは、と感じます。全てデジタルに頼るのではなく、アナログの良さや人の話、読書から学ぶことも知ってほしいです。いろんなことを見たり聞いたりして、いま無いものをゼロから自分で作り上げていくような思考を自分で訓練する、そういうことをできる人が増えるといいですね。



約6000種類の商品が掲載されたカタログも毎年製作している